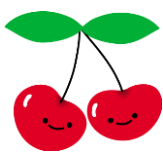


さくらんぼ



～やさしく・かしこく・たくましく～

NO. 2 平成30年5月28日発行
山口大学教育学部附属幼稚園
URL:<http://www.ymg-kg@yamaguchi-u.ac.jp>

今月は子どもの日のお祝いや、親子遠足、検診など行事に足を運んでいただくことができました。また、家庭訪問ではみなさんのご家庭にお邪魔しました。ご家庭の周りの様子など実際に見ることで、子どもたちが話す公園はこのことかな？お庭のお花ってこれかな？など、つながったり、想像しやすくなったりします。ご協力ありがとうございました。今回は親子遠足やこの頃の子どもの様子をご紹介します。

自然がいっぱい！親子遠足



先日の親子遠足では、大変お世話になりました。初めての遠足で楽しみながら花組さん、進級児・新入児みんなで歩いたりお弁当を食べたりするのをワクワクしている風組さん、最後の親子遠足でやる気満々の星組さん、それぞれがいろいろな思いをもって迎えた親子遠足でした。天候にも恵まれ、親子一緒に大学内の牛や馬、鯉などの自然に触れ、山口大学を十分に満喫できたのではないかと思います。特に農学部は、敷地がとても広くて自然がいっぱいでした。馬のところでは、実際の馬の大きさに驚いたり、子どもたちが人参やキャベツを馬にあげて喜んでいました。馬術部の方々が餌やり体験のお世話もしてくださり、大学の学生とも交流をもちました。「馬は横に目がついているんだよ」と教えてもらい、子どもたちもとても喜んでいました。牛のところでは、「牛のベロが黒かった！」とびっくりしている姿や、「小さい牛がいる！かわいい」と子牛を見つけて草をあげる姿も見られました。「牛さんに触れた！」「全然怖くないよ！」「お母さんと一緒に近くに行く」と言いながら、あまり接する機会のない動物と触れ合う姿を嬉しく思いました。

また、風組さんは、持って来ていた探検ブックで草花を見つけては探「この花何て言うの？」「この草食べられる？」とお家の方とお話している様子も見えました。身近な自然に興味をもち、自分たちで調べたりお家の人に聞いたりする姿を大切にしたいと思いました。

散策から帰り、ゴールした子どもたちは達成感のある顔をしていて、心も体も少し成長したようにも見えました。お家の方や同じ年の友達と一緒に体験することは大切だと改めて感じました。昼食はクラスで集まってお弁当を食べました。幼稚園でのお弁当も楽しそうですが、やはりお家の方も一緒にいる安心感からか、子どもたちがとてもいい表情でお弁当を楽しんでいたように感じます。

親子遠足の次の日、「今日も遠足がいい」と言っていた風組さんもいたようです。それだけ楽しく充実した1日になったのでしょう。お家の方からお話を聞き、とても嬉しく思いました。親子遠足を通して一緒にダンスをしたり、手をつないで歩いたりしたことでゆっくりにお子さんと触れ合えたのではないのでしょうか。また、本園の母体である山口大学で遠足を実施し、散策をしたことでヤマミイのことを知ったり、山口大学に親しみをもったりすることができたように感じます。保護者の方々には、親子遠足を進めるにあたって、ご配慮やご協力をいただき、とてもいい遠足となりました。始めの会も予定時間よりも早く進めることができました。心から感謝しております。(福田)

初夏のおいしさいっぱい！



5月に入り、真っ赤に熟れたサクランボの実を星組さんで収穫しました。たくさん実ったサクランボに大喜びの子どもたち。グループごとに順番で収穫していきました。始めは赤い実を握ってつぶれそうになることもありましたが、採り方を伝えていくと軸から上手に採れるようになりました。「2個つながって採れたよ！かわいいね」「かごいっぱいになってきたね！」とみんなで収穫したサクランボを見て嬉しそうに話していました。サクランボが苦手と言っていた子どもも、「この赤いのを食べたらいいよ！」「おいしいよ！」と周りの友達の言葉を聞いて、一緒に食べる事ができました。自分達で収穫したり、友達と一緒に食べたりすることが、子どもたちの食べる意欲や喜びにつながっているのだらうと嬉しく思いました。花組さん、風組さん、お家の方にもお裾分けしました。みんなで春の自然を味わうことができよかったですね。

また、幼稚園や小学校の梅の木にも段々と実がついてきました。今年の梅を収穫する前に、昨年度の星組さんがつくった梅ジュースをみんなで味わいました。梅ジュースの味を調合するのは、星組さんです。計量カップを使って梅ジュースの液と水を計って入れていきました。「あー、もうちょっと、少しずつね」と計りの目印を見ながら教えているA君。「入れすぎ！戻してー！」と友達の声を聞いて、水を減らしていくBちゃん。Cちゃんはやかんを手で支えたり、Dちゃんと一緒に見守ったりしています。友達同士で教え合ったり、助け合ったりする姿がたくさんあり、微笑ましく思いました。みんなに配る前にちょっと味見をし、「ちょっとすっぱいかな～」「うん、おいしーい！」と自分達で確認しながら、おいしい梅ジュースをつくっていきました。

「星組さんで梅ジュース屋さんができそうだね」との保育者の言葉に反応した子どもたちは、さっそく星組のテラスで梅ジュース屋さんを開きました。くり返し梅ジュースをつかった子どもたちは、計量カップで測ることに慣れ、上手に声をかけ合いながらつくっていきます。「じゅーすやさん」と画用紙に書かれた看板を貼って、オープンです。「梅ジュース屋さんですよー！」とお客さんを集め、みんなでおいしく飲みました。2回目は、風組さんにもお客さんになってもらいました。苗字を書いたネームプレートを胸に貼ってなりきって、テキパキとジュース

を配り、「はい、おかわりですね。ちょっと待ってくださーい！」と本場のジュース屋さんのようにでした。隣では園庭で採ったグミの実で、「グミやさん」もオープンしていましたよ。初夏のおいしい自然がいっぱいの附属幼稚園。次はどんな自然に出会えるかワクワクしますね！(高橋)



保健室ってどんなところ？

先日初めての身体測定がありました。体操服に着替えるのも列をつくって歩くことも初めてです。朝の着替えは保護者の方に手伝ってもらいました。大変助かりました。ありがとうございました。出発する前に「今からどのくらいみんなが大きくなっているか測りに行くよ」という話をしました。すると、Aちゃんが「私を抱っこしてみよう」と言うので抱っこをしながら「うーん重たい。これは大きくなってると。きっとみんなも大きくなってると」と話をして、みんなで汽車の列をつくりながら保健室まで「シュッシュポッポ」と歩いていきました。後ろの人について歩くというのは難しいことで、前後したりグニャグニャしたりですが、幼稚園の生活の中でいろいろな機会をとらえて並んで歩くということが身につけていけばと思っています。

保健室に着くと、優しい松村先生が「いらっしやい。花組さんよく来たね」と迎えてくれました。子どもたちのほとんどが保健室に来るのが初めてです。部屋の様子を子どもたちはキョロキョロ。



「ここはみんなが怪我をしたり、お熱があったりしたときにみてもらえるところ。保健室って言うよ。このお部屋でみんなの手当てをしてくれるのが松村先生です。みんなのお助けマンの先生よ。」と紹介すると、「みんなのお家にも救急箱があるでしょう、このお部屋全部が救急箱みたいに絆創膏とか消毒とかいろいろあるよ」と松村先生も教えてくださいました。Bちゃんは「花組にも箱あるよ」とお部屋の救急箱を思い出していました。C君は話を聞きながらも身長計や体重計、ベッドなどが気になって「これは何？あれは何？」と段々不安になったのか、「あーん」と泣き出してしまいました。「病院みたいに思ったかな？ここは注射はありませーん。注射は病院じゃないとできないんだ。松村先生は、病院の先生ではありませーん。幼稚園の先生なの。だから大丈夫。この機械も背を測るのだから痛くないよ。やってみるよ」とやって見せました。それを見たD君は「僕は泣かないよ」と何度も言っていました。D君もC君の泣く様子から自分も怖くなっていたのだと思います。自分に大丈夫と言いつけていたのでしょうかね。C君には「お友達がやっているところを見ていいよ」と声をかけて測定を始めました。初めてでしたがみんな上手にできました。C君もみんながやる様子を見ているうちに安心したのか最後には泣き止んで自分から身長計に乗りに行きました。すごいですね。C君もD君も、花組さんみんな頑張りました。

幼稚園ではもっとステーションな松村先生です。養護の先生がいっぱいやることは本当に心強いことです。これから体の大事なことをたくさん教えてください先生です。これから検診も続きますが、保健室に安心して行けるようにと思っています。よろしくお祈りします。

(編集：井上)